

企業理念

未来永劫変わらないサンゲツの原点である、「社是」「企業使命」「サンゲツ三則」に、「ブランド理念」を合わせ、サンゲツの「企業理念」とします。

社是	企業使命	サンゲツ三則
誠実	インテリアを通じて社会に貢献し、豊かな生活文化の創造に寄与します。	▪ 創造的デザイン ▪ 信頼される品質 ▪ 適正な市場価格

ブランド理念

ブランドステートメント Joy of Design

ブランドパーパス

私たちは、新しい空間を創り出す人々にデザインするよろこびを提供します。

Joy of Design

私たちは、新しい空間を創り出す人々にデザインするよろこびを提供します。

自らの住まいで想いを叶えるよろこび。これまでになく商空間や施設を構想し、実現するよろこび。

そのよろこびの実現を支える存在として、私たち自身もデザインとはなにかを考える必要があります。

私たちが追い求めるべきデザインは、商品自体の美しさや機能といったモノのデザインは勿論、その先にある空間と、そこでの人々の心や行動を考えるコトのデザインです。

私たちは、この2つのデザインの視点から、インテリアのトータルデザインを含めた空間づくりの提案を行っていきます。また、その実現にむけて、自らの事業基盤の拡大と機能の高度化に加え、社外のパートナーとの取り組みを大切にします。

Joy of Design. デザインするよろこびを。

サンゲツは、インテリア商品の作り手と使い手、関連する人々とともに、新しい価値創造のよろこびを分かち合うことを目指します。

編集方針

サンゲツグループは、当社の企業価値や中長期的な成長性を重要なステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、年1回「SANGETSU REPORT」を発行し、財務情報と非財務情報についてあわせて報告しています。「環境レポート」では、環境に関する情報をまとめ、主要データに関して第三者保証を受けることで、信頼性・透明性向上に努めています。当社では、社会的課題やステークホルダーの皆さまの期待・要請に基づき、環境面におけるマテリアリティ(重要課題)を特定、長期ビジョンとして新たに「第一次環境中期計画(2017~2019年)」を策定しています。本報告書は、重要課題に沿って2017年度の実績と主な取り組みを中心に報告しています。

報告対象範囲

株式会社サンゲツ

対象期間

2017年4月1日~2018年3月31日
※一部2018年4月以降の活動も含まれます。

発行月

2018年10月

参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」
環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

将来の見通しに関する注意事項

本レポート内に記載されている株式会社サンゲツの現在の計画、見直し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見直しであり、これらは現在入手可能な情報に基づいた仮定および判断です。

SDGsへの貢献

2015年9月、国連総会にて「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。SDGsでは持続可能な世界に向けて取り組むべき17の目標と169のターゲットが掲げられ、国だけでなく、企業にも積極的な関与が求められています。サンゲツグループは事業活動を通じて、社会的責任を果たしながら目標達成に貢献していきます。「豊かな生活文化の創造」を目指す当社グループでは、「目標11：住み続けられるまちづくりを」をはじめ、事業活動とかかわりの深いSDGsの目標に重点を置き、その解決に貢献していきます。



INDEX

- 04 トップメッセージ
- 06 環境方針
 - 06 環境方針
 - 07 環境マネジメント
 - 08 環境行動計画
- 10 環境活動
 - 10 地球温暖化防止
 - 12 環境負荷の把握
 - 13 資源循環
 - 16 生物多様性と化学物質による汚染の回避
 - 18 商品を通じた地球環境保全
 - 25 環境コミュニケーション
- 27 第三者意見・第三者保証
- 28 開示データ
- 30 環境報告ガイドライン対照表



株式会社サンゲツ
代表取締役 社長執行役員

安田正介

持続可能な 社会の実現に向けて

近年、サステナビリティ(持続可能性)に向けた動きがグローバルに発展しています。2015年には国連総会で「持続可能な開発目標(SDGs)」が、同年12月には国連気候変動枠組条約(UNFCCC)の国際会議「COP21」で「パリ協定」が採択されました。

SDGsでは、「気候変動及びその影響の軽減」「持続可能な生産消費形態の確保」など環境保全を含む持続可能な世界に向けて取り組むべき17の目標と169のターゲットが合意されており、国だけでなく、企業にも積極的な関与が求められています。パリ協定では、温室効果ガス排出削減に関する中長期的な具体的目標が設定されました。こうした指針は、持続可能な社会の実現に向け、地域社会や企業、そして世界全体が協働し、取り組む必要性を表しています。

このような社会や地球環境に関する課題は、サンゲツグループの事業活動においても事業の持続可能性を追求する中で重要な課題であると認識し、それらの課題解決に貢献していくことは「豊かな生活文化の創造」を目指す企業として大きなテーマであると捉えています。2017年5月に発表した中期経営計画「PLG 2019」では、「ESG/CSR方針」を重点施策の1つに掲げ、環境保全を含めた5つの分野において取り組み課題と定量・定性目標を設定し課題解決に向けての取り組みを進めています。

なかでも、気候変動については、サンゲツグループの事業活動においても重要な課題と認識しています。まずはサンゲツグループ全体の環境負荷を把握、気候変動によって起こり得る事業活動へのリスクを抽出してリスク回避を行うとともに、地球温暖化防止に向けた体制を構築し、将来的には排出量ゼロに向けた計画を立案することを目標としています。また、サンゲツグループに関わるサプライチェーンにおける地球環境への負荷の測定と社会的課題の解決に向けて、仕入先への働きかけを行っています。

さらに事業活動においてはSDGs目標11『包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する』をサンゲツグループの重点目標とし、サンゲツグループが提供する商品やサービスを通して社会課題の解決とともにお客様のインテリアに対する多様なニーズにお応えできる機会と捉え、壁紙、床材、ファブリックなどサンゲツが取り扱う内装材において環境負荷低減型商品の企画・開発、販売に注力しています。

環境負荷低減型商品のラインアップは多種多様ですが、これら環境負荷低減型商品を計画的かつ積極的に企画・開発し、販売することで、サンゲツグループの事業活動によるCO₂排出量を上回るCO₂排出削減の実現に向けて取り組みを開始しています。

CSR/ESG活動をグループ全体で推進し、社員一人

ひとりが誠意を持って社会や地球環境に関する課題解決に取り組んでいくことは、持続可能な社会の実現を達成するために大きな意味を持つものであると同時に、グループ全体の企業価値向上につながるものと確信しています。

サンゲツグループはこれからも、持続可能な社会の実現に向けた着実な取り組みを進め、すべてのステークホルダーの皆さまとともに、新しい価値創造のよろこびを分かち合える企業になることを目指してまいります。